

## 絵本が育むもの



《『おおきなかぶ』の絵本体験がいきています》

7月17日(金)、5歳児のひまわり組の子どもたちがジャガイモ掘りをしました。そのあとのことです。手の空いた子が畑の周りの草取りを始めました。そのうち、一人の女の子がブランコの近くに長く伸びた草を見つけて、それを抜こうと両手で草をもって引っ張り始めました。でも草はなかなか抜けません。その様子を見ていた別の女の子が近づいてきて、その女の子を後ろから引っ張り始めました。二人つながって「う

んとこしょ どっこいしょ」と、『おおきなかぶ』の絵本のように、声をそろえて草を引っ張っています。とても楽しそうです。

この子どもたちは、昨年、担任の先生から『おおきなかぶ』の絵本を読んでもらって、劇遊びをしていました。その経験が一人一人の中にしっかりと残っていたのだと思います。

このように子どもたちみんなが同じお話を知っていて、クラスみんながお話を共有していると、何かをきっかけにその共有されたイメージが、遊びや活動の中に現れてくることがあります。絵本体験が、子どもたちの遊びや活動を豊かにしていきます。

教育の成果は、いつ現れるかわからないものだなと思いました。

## 子どもたちが、何かに夢中になる夏休み

【今年の夏休み期間】 8月1日(土)～8月21日(金) 21日間

※ 8月12日(水)～14日(金)の3日間は幼稚園閉庁です。

※ 2学期の始まりは、8月24日(月)です。



《カブトムシいるかな》

今年は、例年より短い夏休みになります。それでも子どもたちの前には自由で楽しい時間が広がっています。この夏に、新幹線や恐竜の図鑑に夢中になったり、オニヤンマを追いかけたり、カブトムシを捕まえたりできたら、それはとても素晴らしい経験として子どもたちの心に刻まれるだろうと思います。解剖学者の養老孟司先生や分子生物学者の福岡伸一先生が、小さいころに昆虫採集に夢中だったという話を本で読んだ

ことがあります。子どもころに何かに夢中になって調べたり、おぼえたり、集めたりした経験は、その後の学習や仕事にも、いきてくるのではないかなと思います。子どもたちが「何かに夢中になる夏休み」になることを心から願っています。